

上田市地域づくり人材育成講座 2019 第 4 回

「ジブンゴトの災害情報共有」報告



グループワークにて学生と協働して災害情報の投稿を進める様子

【1】 講座概要

<概要>

上田市地域づくり人材育成講座 2019
第 4 回 「ジブンゴトの災害情報共有」
主催：上田市／共催：長野大学
日時：12/6（金）14:00~16:00
会場：長野大学 4-104 教室

<タイムテーブル>

14:00 本日の講座のねらい

前川道博（長野大学企業情報学部教授）

14:30 実習：地域防災マップづくり

講師：中村完二郎（カンプロ）

（14:55 途中休憩）

15:30 グループワーク：今後に向けて地域の情報共有をどう進めるか

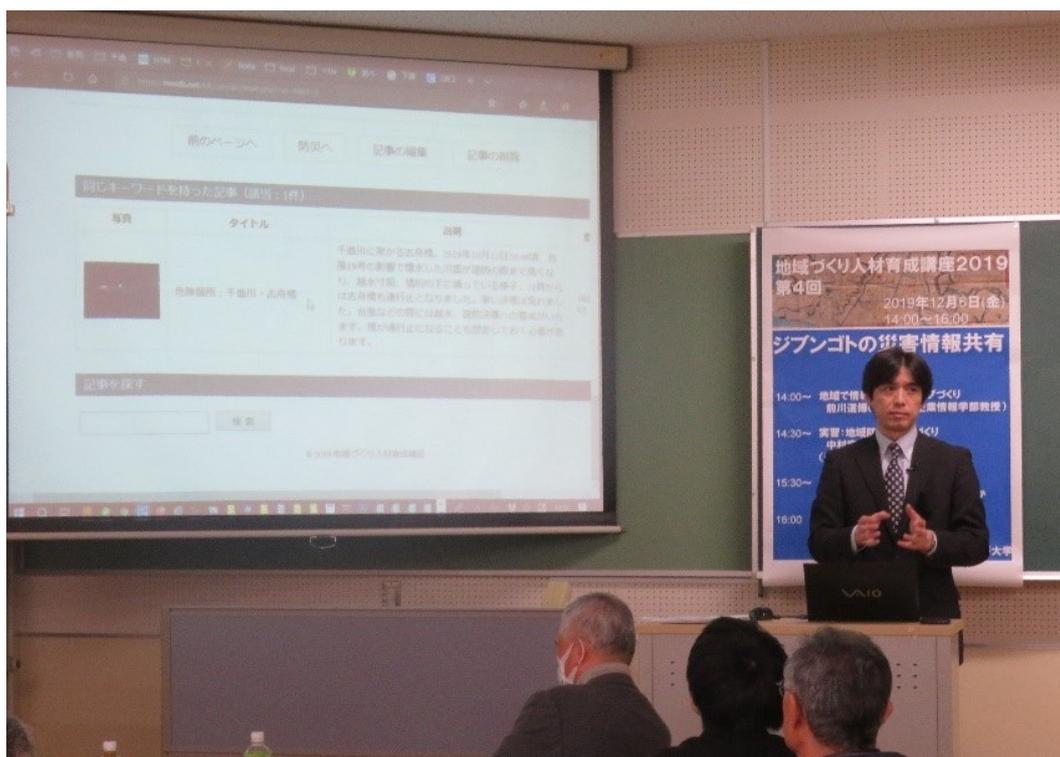
16:00 終了

【2】 講座報告

第4回講座では、「ジブンゴトの災害情報共有」というテーマで防災や災害情報の共有について考えた。

最初に、講座企画者である前川先生から講座のねらいと地域での情報共有について話があった。前川先生からは、「ジブンゴト」としての情報発信として「信州デジタルコモンズ」を使ってみることの楽しさ、それが防災にも役立つのではないかと提案があった。

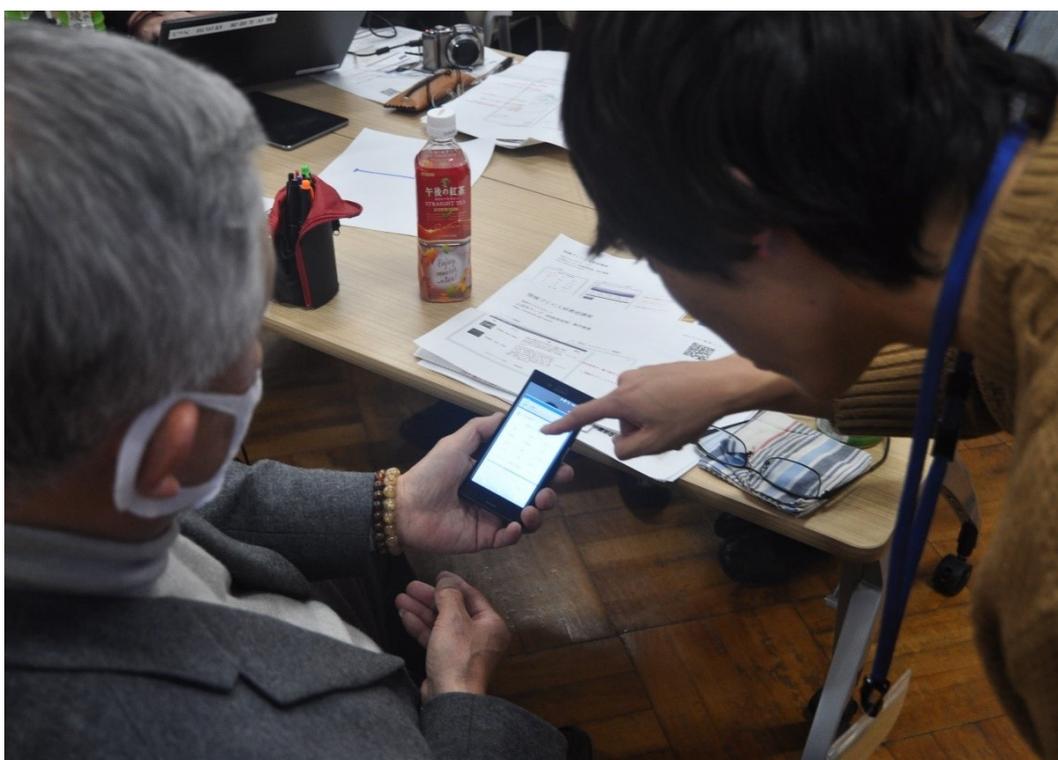
今回は実際に実習として各自が宿題として持ち寄った画像データをアップロードすることに取り組んだ。今回の防災・防犯分野を含んだ試作版アーカイブサイト「上田市マップ」の特徴や使い方について、制作したカンプロの中村完二郎さんより説明があった。



試作版マップを制作した中村完二郎さんの説明

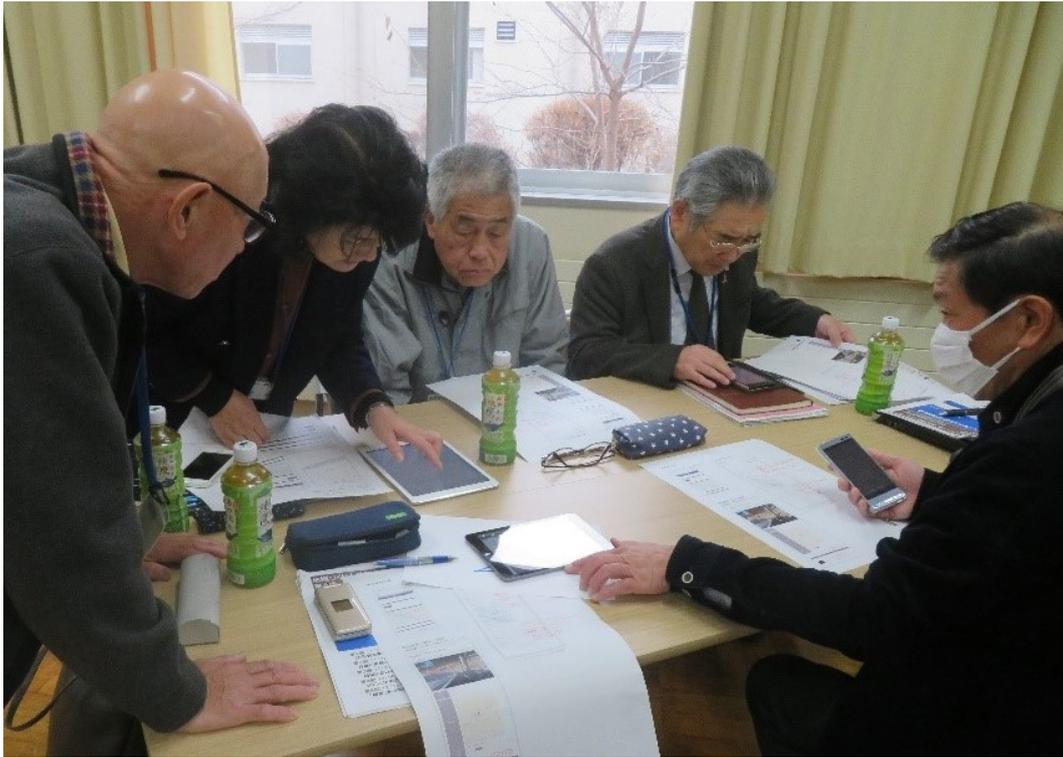
中村さんからは、今回のアーカイブサイト「上田市マップ」の特徴として最新の投稿が新着記事としてトップにくること、SNSでよく使用される機能ハッシュタグのようにテーマ別に検索することができること等、実用性の高いアーカイブサイトになっていると紹介された。

説明の後、参加者それぞれが宿題となっていた「近所の危険個所」をマップにアップロードする作業を行った。簡単に投稿できるようになっているサイトだが、スマートフォンの操作に不慣れな方もおり慎重に項目を入力しながら行った。



学生から説明を受けながら投稿作業を進める様子

「情報発信」が第一の目的なので、地図（画像の位置）の精度や、地域とその画像の説明など参加者に投稿の楽しさややりがいを体験してもらった。なかなか手が進まない方もいたが、逐一説明し項目を入力していくうち、地域の話提供にもつながりまた、集まって行うことにより発信の「面白さ」を共有する事にもつながるのではないかと考えた。



メンバー同士で確認しながら作業を進める様子

作業を進めていくうちに参加者からも、「早く自分の投稿したのが見たい」、「投稿の仕方がわかりやすく慣れてくれば使える」といった前向きな声があり体験していただけて良かったと感じた。

今回の講座を通じて、次は地区に来てやっていただきたいとの声もあり、試作版アーカイブサイトの実現性も高まったのではないかと感じた。現状はサーバの管理や情報関連の知識の有無等組織としての課題があるが、今回のような初歩的なマップ作りが防災や減災に少しでもつながるのではないかと考える。

【3】 アンケート集計結果（ご意見ご要望欄を一部抜粋）

- ・自治会活動を担っている住民は 60 代、70 代であり IT にうとい。自治会でサーバを設置し運用することは困難であり、マップを実際に運用するには上田市のサーバを開設しないと無理と考える。
- ・まだ初心者なので使いこなせなかったが、1 件でもアップロードできてうれしかったです。
- ・時代によって行きたいと思いました。今日の講座をもう少しやってみたいと思いました。

（報告者 樋沢 舜 長野大学前川ゼミ 4 年生）